

「檄文」ガ何故ニ流布サレルカヲ見ル時、ソコニ救ヒ難キ組織上ニ於ケル混亂ノ中ニ身モダヘシテキル、プロレタリア黨ト吾ガ全農全會ガアル、

コノ混亂ヲ克服シナイ限り、全農全會ノ發展ノ途ハ絶對ニナイシ、マタ尊敬スベキ黨ノ擴大ノ道モナイデアラウ、コノ點ヲ今後ノ吾ガ全會ノ組織問題解決ノ鍵トシテ、特ニ全國ノ僚友諸君ハ異常ナル關心ヲ喚起サセナクテハナラヌ、

吾々ハ前進カ破滅カノ危機ニ面シテイル全農全會確立ノタメニ以上ニ於テ態度ヲ明カニシ、兼テ常任全國委員會ヲ名乗ル同志諸君ノ迷盲ブリヲ駁シテ來タ、尙幾多ノ言フベキコトヲ持ツテイルガ一先ス表明ヲ避ケルデアラウ、全國ノ同志諸君!! 吾ガ「全農全會ノ全國的再建、大衆的轉換」ノ闘争ノ途ニ固キ血盟ノ手ヲ握リ、勇躍シテアラウデハナイカ

最後ニ二ツ全國ノ同志諸君ノ注意ヲ促シタイコトハ吾ガ縣聯ノ駁撃

文並ニ關東地方懇談會ノ「全國懇談會提議」ノ意見、企テ等々ト常任全國委員會ヲ名乗ル同志諸君トノ「意見ノ相異」ヲ全會内部ノ對立ニマデ延長シテ、全農全會ヲ分裂、破壊ニマデ導カント支配階級ガ奸策ヲ弄スルデアラウコトデアアル

コノ陷穽ニ落チ込ムコトナク充分ナル用意ト覺悟ヲ以ツテ今後ノ闘争ニ望マレンコトヲ希望スル。

以上